

「保健師」になろう!!

地域の健康を支えるプロになろう!

保健師って何?

とじりで





保健ってことは、あれ?
健康とかに関わるやつ?

ホケンシ?

なんだそれ?

「保健師」になろう!!

地域の健康を支えるプロになろう!

保健師のお仕事

乳児の家庭訪問



高齢の方へ家庭訪問



保健師は、健康や病気の相談にのってくれる地域の看護職です。

皆さんの身近なところでは、お母さんやお父さんの会社の相談室の保健師、乳児の家庭訪問や乳幼児健診、介護が必要なおばあちゃんやおじいちゃんの介護の相談などにのる市町村役場の保健師。

学校保健師



様々な場所で地域の健康を守るために、健診や相談などをしています。

乳幼児健診



保健師のお仕事

保健師の約60%が行政保健師として働いています。

1 行政保健師

県・市町村に勤務します!

① 県の保健師

「保健福祉事務所」や「児童相談所」といった県の機関で働きます。

お仕事の
内容

母子保健や思春期保健、精神保健についての相談や、難病や感染症(結核・エイズ・性病等)の対策など



家庭訪問



乳幼児健診



② 市町村の保健師

ア 保健のお仕事

地域の「保健センター」などで、乳幼児から高齢者まで幅広い年代の人たちの健康をサポートします。

お仕事の
内容

乳幼児健診、母親学級、各種検診、予防接種、心の相談、家庭訪問、生活習慣病予防対策、感染症対策など

イ 介護のお仕事

「地域包括支援センター」で、65歳以上の高齢者や家族の健康をサポートします。

お仕事の
内容

健康教室などの介護予防事業、介護プランの作成など介護予防支援、認知症対策など

エイズ検査
性病検査



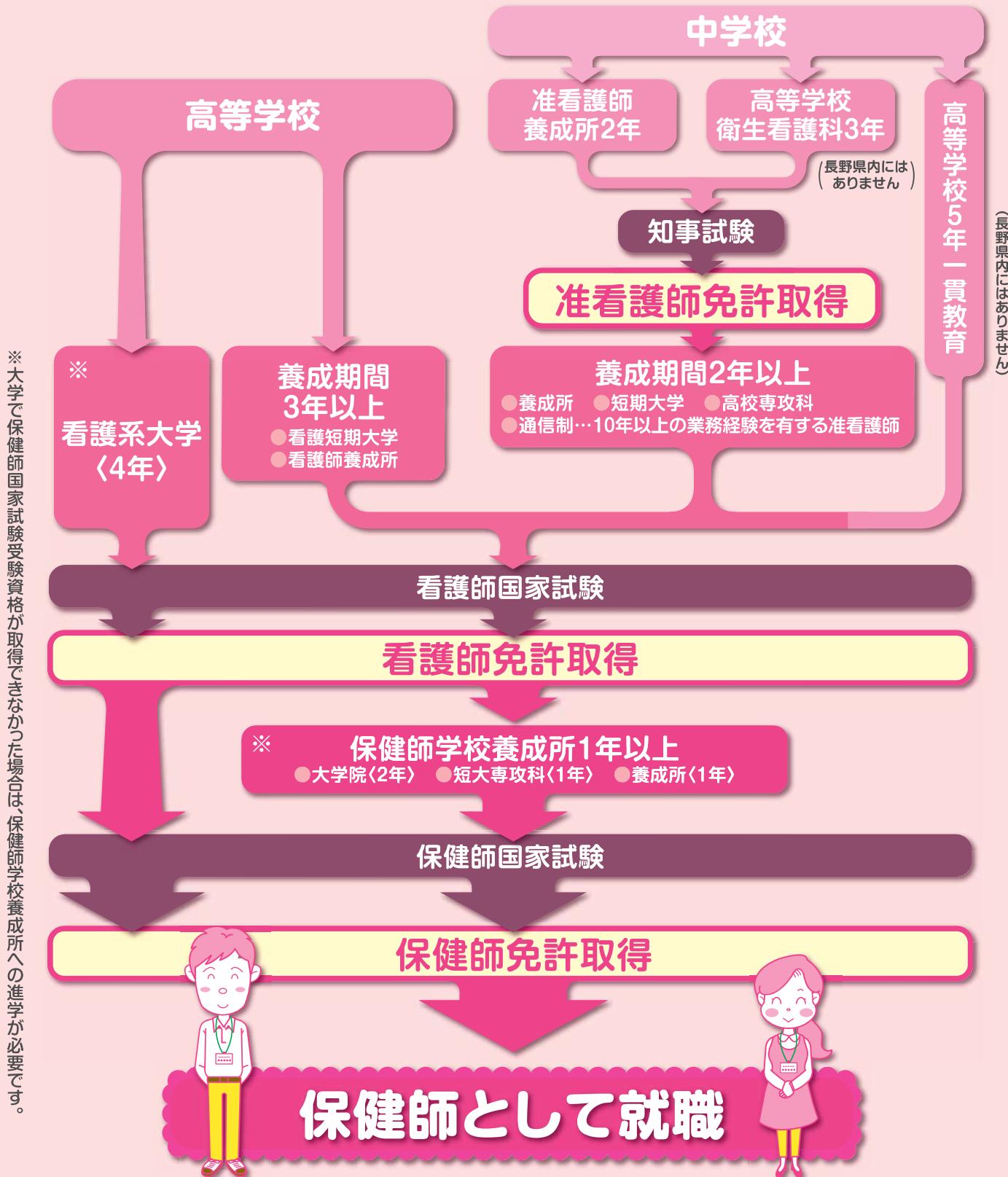
学校での性教育や
健康教育

2 そのほか、学校や病院、一般企業で活躍している保健師もいます!

保健師は、みんなの「病気・ケガの予防」や
「心と身体の健康の維持」に関わる大切な役割を果たしています!

保健師への道!!

(看護師と保健師の国家資格をゲットしよう)



平成28年4月現在の制度で、今後変更される可能性もあります

Q&A

Q1 保健師には、どんな人が向いていますか？

- A ●看護師や保育士などと同様に、男性でも女性でも保健師になることができます。
●人と関わる仕事なので、人と接することが好きな人には特に向いています。

Q2 保健師にはどうしたらなれるの？

- A 保健師になるためには、国家資格である「保健師」の資格を取得する必要があります。資格を取得するためには、主に2つの方法があります。
- ①看護系大学に進学して、看護師とともに保健師の資格を併せて取得する方法。
 - ②看護師の資格を取得してから、保健師学校養成所などで1年以上勉強し、保健師の資格を取得する方法。
- ただし、行政保健師として勤務するためには、「保健師」の資格を取得するとともに、公務員試験を受験し、県や市町村等の自治体に採用される必要があります。

※保健師になるには、概ね4～6年ほどかかります。

Q3 保健師のやりがいってなんですか？

- A ●人の支えになります。
●行政保健師（県、市町村）は、地方公務員で女性が結婚後も働くことができる環境が整っています。育児休暇（3年間）等の取得が保障されており、出産後も安心して働くことができます。
●市町村保健師は転勤がなく、同じ場所でじっくり仕事ができます。
●医師・心の相談員などいろんな人と仕事をすることで、コミュニケーションが広がります。
●赤ちゃんからおじいちゃん、おばあちゃんまでいろんな人と幅広く関わる仕事です。

Q4 勤務形態は？

- A ●勤務時間は8:30～17:15
休日は、毎週土曜日及び日曜日、国民の祝日、12/29～翌年1/3までの日
●年次有給休暇が、勤務年数により20～40日間取得できます。

Q5 お給料はどのくらい？

- A 初任給は約17万～20万円くらいが一般的です。

「心と身体の健康」に興味・関心のある人は、是非、保健師を目指してみませんか。地域のみなさんの健康維持と一緒に取り組んでまいりましょう!!